

# 王子総合高等学校 図書館案内 Vol.69

場所：メディア棟 2階  
蔵書冊数：23,601冊  
新聞：8紙  
雑誌：17誌

令和8年開始

新年のスタート、おめでとうございます。

1月は「新しいことに挑戦する」気持ちが自然とわいてくる月です。

図書館にも、新しい世界をのぞける本や、知識を深める本がたくさん並んでいます。

今年も、みなさんの“やってみたい”を後押しできる図書館でありたいと思っています。

[ひだりうま] の定義

[ひだりうま]

「馬」の字を左右逆に書いた文字。縁起物の文字とされる。[うまを逆に読んだまう（舞う）が古来めでたい席で催されるからとも、馬の字の下の部分を財布の巾着に見立ててお金がたまるからとも言われる]



今回はあまり知られていない、ちょっと特徴のある出版社の本を紹介します。

福岡を拠点とした書肆侃侃房（しょしかんかんぼう）は、福岡市を拠点に文学・短歌・海外文学など幅広いジャンルを手がける出版社です。短歌・詩・小説など、既存の枠にとらわれない文学作品を積極的に紹介し、新しい才能を世に送り出すことを大切にしています。

図書紹介

**『キリンが文学を聞いたら サバンナで続ける証言現代文芸史70』**

読売新聞文化部「本よみうり堂」【編】書肆侃侃房 分類 910.2

「もし動物たちが文学を“聞く”ことができたら、どんなふうに感じるのだろう」

——そんなユニークな発想から生まれたエッセイ集です。

キリンやカバ、ハリネズミなど、さまざまな動物たちが登場し、彼らの視点を通して文学の魅力をあらためて見つめ直すことができます。動物たちのちょっと不思議で、どこか哲学的な“感想”に触れていると、いつもの読書が少し違って見えてくるはず。

文学が好きな人はもちろん、「最近あまり本を読んでいない」という人にも、気軽に楽しめる一冊です。

**『女の子が死にたくなる前に見ておくべきサバイバルのためのガールズ洋画100選』**

北村 紗衣【著】書肆侃侃房 分類 778

悩んだり、落ち込んだり、気持ちがうまく言葉にできないとき。

そんなときに寄り添ってくれる“映画の力”を紹介する一冊です。本書では、世界の映画の中から、女の子たちが自分らしく生きるためにヒントをくれる作品を100本セレクト。

強くなくてもいい、完璧じゃなくてもいい—映画の中の主人公たちが、そんなメッセージをそっと届けてくれます。映画が好きな人はもちろん、気分転換したいとき、新しい視点に出会いたいときにも手に取りやすいガイドブックです。



「ちょっとしんどいな」と感じたときの、心の味方になってくれるかもしれません。

**今月の小特集 「運をひらく」**

開運・幸運・強運…運につながる本を展示しています。ご挨拶の仕方やしきたりを学んで、神様に失礼のないように参拝しましょう。意外と知らないことが多いです。

